まちづくり支援自動販売機を設置！

5月15日、合志庁舎前でまちづくり支援自動販売機設置除幕式が行なわれました。

この自販機は、南九州コカ・コーラボトリング株式会社がすすめる「地域貢献自販機プロジェクト」を利用して設置されたものです。市民の皆さんが気軽にまちづくりへ参加することができる「募金箱」の役割をもっており、売上金の一部が市へ支援金として支払われる仕組みとなっています。この収入は設置施設の維持管理費用の財源として充てられ、施設のコスト削減を図ります。

自販機には、本市のイメージキャラクターの「ヴィーブルくん」と「ひまわりドンちゃん」がデザインされています。

また、本市のまちづくりの基本理念「人と自然を大切にした協働によるまちづくり」と、将来像「未来輝く、産業・定住拠点都市」が記載され、「志を合わせて、協働によるまちづくりをすすめる」まちづくりをアピールしています。

同様の自販機は、中央運動公園、妙泉寺公園、飯高山公園、元気の森公園、ユーパレス弁天にも設置されています。ぜひご利用ください。

異国の地でボランティア

6月15日、青年海外協力隊としてマダガスカルに派遣される佃麻実さん（泉ヶ丘）と、モザンビークに派遣される溝口景太さん（榎ノ本）が出発前の報告に市役所を訪れました。

中学生のころから協力隊への参加を思い続けていた佃さん。現地では地域の「食」を通じた開発普及を行ないます。

一方、就職活動の中で興味を持ち、参加を決意した溝口さんは農業専門学校で家畜飼育の指導にあたります。

2人とも派遣期間は2年。言語も風土も日本と異なる国への派遣に、市長は「体を大切に活躍してください！」と激励しました。

（写真左から）
市長の激励を受ける佃麻実さんと溝口景太さん

甘くておいしい 合志のすいか！

6月12日、ＪＡ菊池すいか部会合志支部（可徳克登部会長）の皆さんが市役所を訪れました。

今年は3月後半からすいかの出荷が始まりましたが、天候に恵まれず、農家にとっては難しい年だったそうです。

しかし、収穫されたすいかは糖度が高く、関東や関西方面にも出荷されました。

これからの季節、皆さんも地元のすいかを食べて暑さを乗り切りましょう。

市長にすいかをＰＲする会員の皆さん

合志市商工会 クリーンキャンペーン

合志市商工会（荒木義行会長）が6月14日にクリーンキャンペーンを実施しました。

地域貢献と会員の交流を兼ねたこの行事に、商工会員200人が参加し、カントリーパーク、恵楓園付近など5コースに分かれ、ごみ拾いや草取りなどを行ないました。

ごみ拾いに励む商工会員の皆さん

上庄ホタル祭り

5月31日から6月6日の7日間、上庄ホタル祭り実行委員会（上嶋弘一委員長）の主催で、『上庄ホタル祭り』が開かれました。

祭り期間中は出店などが並び、塩浸川沿いの遊歩道ではホタルの乱舞が観られ、多くの人で賑わいました。

今年も市民の目を楽しませてくれたホタル

杉並台ホタルコンサート

6月7日、杉並台ホタルを育てる会（代表　久川健さん）の主催で『第4回杉並台ホタルコンサート』が飯高山公園で開催されました。

美しいダンスと音楽で会場を魅了

熊本市内の学生で結成されたヨサコイダンスチーム「肥後真狗舞（ひごまくま）」が、勢いのある踊りを披露すると会場は一体となって盛り上がり、専修大学玉名高校吹奏楽部の見事なカラーガードと素敵な演奏に来場者はさかんに拍手を送っていました。コンサート終了後には杉並橋付近でホタルを眺めながら帰る来場者の姿が数多く見られました。

発行／合志市
編集／市長公室
☎096−248−1111
〒861−1195
熊本県合志市竹迫2140番地
ホームページアドレス
http://www.city.koshi.lg.jp

人の動き

※5月末現在
（　）内は前月比

人　口	54,607（+82）
世　帯	20,102（+48）

出　生……55　　転　入……207
死　亡……25　　転　出……155

今月の表紙

6月20日に開催された第7回どろんこフェスタin合生。田んぼでのサッカーやソリ遊びに、子どもたちは元気いっぱい、泥だらけになって遊んでいました。